

明日に向かって ともに創る

104

大船渡市長 戸田公明

新型コロナウイルス感染症と闘う

市は、市民の皆さんのご理解ご協力を得ながら、岩手県・大船渡保健所・気仙医師会・県立大船渡病院・大船渡商工会議所・大船渡市社会福祉協議会など関係機関・団体と連携し、総力を挙げて新型コロナウイルス感染症と闘っています。

このような中、皆さんもご存じの通り、「3つの密を回避」しながら新しい生活様式の定着を進めつつ、検査体制、医療体制、経済・生活支援をバランスよく進めながら、経済社会生活の元気を取り戻すことが大切であると考えています。

まず検査体制ですが、市は、市内に気仙2市1町をカバーする「地域外来・PCR検査センター」を7月下旬に開設しました。8月5日以来、毎週水・木曜日に午後0時30分から2時30分の予約制により、1日3人まで検査できる体制を整えています。8月の1カ月間で8名の検査が行われましたが、全員陰性であり、当原稿執筆時の9月24

日現在においては気仙管内で感染者は発生しておりません。今後は冬場にかけて、新型コロナウイルスとインフルエンザの感染が疑われる人が増える場合には、検査時間の拡大とともに、30分で結果が判明する抗原検査も導入するなど柔軟に対応してまいります。

次に医療体制ですが、感染者が発生した場合に備え、県内全体としては650床（重症45床、軽症・中等症305床、宿泊療養部屋300室）が確保されています。ちなみに9月24日現在における県内の感染者は23人であり、全員が退院しております。このように岩手県、各保健所、県立病院、各地医師会、自治体などの連携により医療体制が敷かれています。

次に経済・生活支援についてですが、市は、これまで国・県による経済・生活支援の状況を確認しながら、その時々どのような支援が必要なのか、市議会の会派要望などの受理、経済団

体・関係機関とコミュニケーションをとりながら、これまで6弾（生活は18項目、経済は24項目）の支援策について実施してまいりました。そのような中、経済支援につきましては、ほぼ市内全業種をカバーしており、ひと回りした感があります。

今後についてですが、最大の関心はいつ頃コロナ禍が収束し、いつまで支援策が必要とされるかです。最近、国は来年の前半には1億4000万回分のワクチンを確保しつつ、どのような分野の方々に優先して接種するかについては専門家会議で詰めて行きたいとの報道がありました。このようにコロナ禍の収束時期は、いまだ明確に見えておりません。

今までの国・県・市の支援策がいつまで効果があるものかをしっかりと見極め、国・県の動向なども確認しながら、必要とされる新たな支援策を案出していかねばならないものと考えています。市としましては、今後とも関係機関・諸団体と連携しつつ有効な支援策を模索し、実施してまいりますので、皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願します。

国勢調査の回答はお済みですか ～国勢調査の回答期限は10月7日(水)です～

9月中旬から下旬にかけて調査員によって配布されました国勢調査の回答期限は、10月7日(水)です。

回答については「インターネット回答」、「郵送による回答」、「調査員による調査票の回収」となりますが、期限を過ぎてから未提出に気付いた場合は、市実施本部に連絡をお願いします。

また、提出期限を過ぎても回答がない世帯には、「調査票の提出のお願い」の書類を調査員が配布します。



■調査票が届いていない世帯は連絡を

調査票配布後に転入した世帯など、調査票が届いていない場合があります。

調査の対象は10月1日現在で3カ月以上住んでいる人（10月1日以前に転入した人は3カ月以上住む予定の人）となりますので、該当する世帯は市実施本部に連絡をお願いします。

▶問い合わせ先

令和2年国勢調査大船渡市実施本部(商工課)
シーパル大船渡内
(☎080-6039-1002、☎090-6854-1002)

